

## 平成26年度授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	中小企業論A	授業コード	E029201
担当教員名	奥田 憲昭	科目ナンバリングコード	E30205
配当学年	3年	開講期	前期
必修・選択区分	選択	単位数	2
履修上の注意または履修条件			
受講心得	講義をよく聞くとともに、教科書を用いて予習・復習を行い、なんども反復学習を行うこと。私語は禁止する。		
教科書	中小企業論 青山和正著		
参考文献及び指定図書	中小企業庁編「中小企業白書」各年版		
関連科目	企業形態論A、経営組織論B		

授業の目的	本授業は、日本の中小企業を中心に、中小企業の構造的側面、制度的側面、経営的側面、政策的側面を取り上げ、今日の中小企業問題を総合的に理解することを目的としている。
授業の概要	教科書として『精解中小企業論』（青山和正）を用いて授業を行う。授業においては、中小企業の構造・創業・下請け制・国際化・産業集積・製造業・流通業・組織・政策等中小企業を特色づけている多様な問題を取り上げる。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
<b>第1週: 中小企業の定義と範囲の基準</b>	予習: 教科書第1章1頁～11頁
1. 中小企業基本法による中小企業の範囲規定、中小企業法の改正、中小企業の範囲規定の意味	を読んでおく。復習: 繰り返し教科書を読む。
<b>第2週: 各国では中小企業をどのように捉えているか</b>	予習: 教科書第2章13頁～30
1. アメリカに中小企業の捉え方、2. EUの中小企業の捉え方、ヨーロッパ各国の中小企業の捉え方、アジア諸国の中小企業の捉え方	頁を読んでおく。復習: 繰り返し教科書を読む。
<b>第3週: 活力ある中小企業の地位と構造の変化</b>	予習: 教科書第3章31頁～54
1. 中小企業の地位とその特徴、2. 中小企業の形態別分類、3. 日本の中小企業の存立分野と特徴、4. 業種別にみた中小企業の構造変化	頁を読んでおく。復習: 繰り返し教科書を読む。
<b>第4週: 創業・開業の促進とインキュベーション I</b>	予習: 教科書第4章55頁～64頁
1. 中小企業の開業の促進の重要性、2. 中小企業の開業(創業)と廃業の推移、3. 開業率低下と廃業率上昇の要因、4. 世界各国と日本の中小企業の企業活動の比較	を読んでおく。復習: 繰り返し教科書を読む。
<b>第5週: 創業・開業の促進とインキュベーション II</b>	予習: 教科書第4章64頁～79
1. 日本の創業者像の特徴、2. 創業・開業の促進のための支援策、3. ビジネス・インキュベーションによる支援、4. 各国の創業・開業の動向、5. 日本の創業支援の方向性	頁を読んでおく。復習: 繰り返し教科書を読む。
<b>第6週: モノづくりと中小製造業</b>	予習: 教科書第6章81頁～
1. 下請制の概念、2. 日本の下請構造の実態、3. 下請制の歴史的な変遷(形成プロセス)、4. 近年の日本の下請構造の変革と特徴、5. 下請企業の生き残り方策	101頁を読んでおく。復習: 繰り返し教科書を読む。
<b>第7週: 国際化の進展と中小企業</b>	予習: 教科書第6章103頁～
1. 戦後の中小企業の国際化の経緯、2. 国際分業体制の進展と中小企業の海外事業活動、3. 貿易構造の変化と中小企業、4. 中小企業の海外投資と海外進出のリスク管理	121頁を読んでおく。復習: 繰り返し教科書を読む。
<b>第8週: 中間調整</b>	これまでの授業の復習をすること。
第1週から第7週までの進行が遅れていた場合は遅れている箇所の講義、遅れない場合は補足説明	
<b>第9週: 地域経済に担い手としての中小企業</b>	予習: 教科書第7章123頁～
1. 地域経済における産業集積の役割、2. 産業集積の変化と新たな対応、3. 産業集積の類型と特徴、4. 大都市圏型の産業集積の推移と方向性、5. 地場(産地)における産業集積の概要について学修する。	152頁を読んでおく。復習: 繰り返し教科書を読む。
<b>第10週: 中小商業の構造変化と商業集積 I</b>	予習: 教科書第8章153頁～

1. 日本の流通業・商業の現状と特徴、2. 流通と商業者の役割、3. 中小商業の実態とその推移、4. 中小企業で顕著な中抜き現象について学修する。		160頁を読んでおく。復習:もう一度教科書を繰り返し読む。
<b>第11週: 中小商業の構造変化と商業集積Ⅱ</b>		予習:教科書第8章160頁～
1. 中小卸売業を取り巻く環境変化と今後の対応、2. 中小小売業の構造変化と課題、3. 商業集積(商店街)の現状と課題、4. 中小小売業に関する施策について学修する。		178頁を読んでおく。復習:もう一度教科書を繰り返し読む。
<b>第12週: 中小企業の資金調達と中小企業金融</b>		予習:教科書第9章179頁～
1. 中小企業の資金調達とその構造の推移、2. 中小企業向けの金融機関の種類と特徴、3. 金融機関からの中小企業向けの貸出の推移、4. 信用補完制度の仕組みと特徴、5. 政府系中小企業金融機関の役割と分類、6. 転換期を迎えた中小企業金融		198頁を読んでおく。復習:もう一度教科書を繰り返し読む。
<b>第13週: 中小企業の組織化</b>		予習:教科書第10章199頁～
1. 中小企業の組織化の意義、2. 中小企業の組織化の変遷、3. 中小企業組合の種類と組合数の推移、4. 組合(共同)事業活動の現状と課題、5. 中小企業組合の抱える課題と今後の方向について学修する。		216頁を読んでおく。復習:繰り返し教科書を読む。
<b>第14週: 中小企業診断制度の歴史と進化</b>		予習:教科書第11章217頁～
1. 中小企業診断制度の沿革、2. 中小企業指導法以前の企業診断の対象と重点の推移、3. 中小企業指導法による診断・指導事業の強化、4. 中小企業振興事業団による指導事業、5. 中小企業診断制度の成果と課題について学修する。		233頁を読んでおく。復習:繰り返し教科書を読む。
<b>第15週: 中小企業政策の役割と課題</b>		予習:教科書第17章241頁
1. 日本の中小企業政策の特徴、2. 中小企業政策の役割、3. 中小企業政策の体系、4. 中小企業政策の実施機関、5. 新中小企業基本法の抱える課題について学修する。試験についても解説する。		253頁を読んでおく。復習:繰り返し教科書を読む。
<b>第16週: 期末試験</b>		はやめに試験勉強をする
授業の運営方法	(1)授業の形式	「講義形式」
	(2)複数担当の場合の方式	
	(3)アクティブ・ラーニング	
備考		

<b>○単位を修得するために達成すべき到達目標</b>	
<b>【関心・意欲・態度】</b>	教科書で予習をし、講義をよく聞き、復習をする。
<b>【知識・理解】</b>	講義で取り上げた内容を理解する。
<b>【技能・表現・コミュニケーション】</b>	
<b>【思考・判断・創造】</b>	

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等 (テスト)	レポート・作品等 (提出物)	発表・その他 (無形成果)	
<b>【関心・意欲・態度】</b> ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。	50点			
<b>【知識・理解】</b> ※「専門能力<知識の獲得>」を含む。	50点			
<b>【技能・表現・コミュニケーション】</b> ※「専門能力<知識の活用>」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。				
<b>【思考・判断・創造】</b> ※「考え抜く力」を含む。				
<b>(「人間力」について)</b>				
※以上の観点に、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。				

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	成績は出席・期末試験等で評価する。
レポート・作品等 (提出物)	
発表・その他 (無形成果)	